

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
2-3	2款1項5目(企画費) 210-104-1	まちづくり総合支援事業(まちづくり応援団)

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	18	交流人口100万人を目指す西川町にとって、西川町をアピールしたり、側面から支えてくれるまちづくり応援団は必要である。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	9	事業の内容が、年1回の総会と交流会となってお、事業内容が乏しく妥当性は低い。 当初の設立目標・目的を考え、まちづくり応援団の今後の在り方、方向性を明確に打ち出すことで展望が見えてくる。組織の在り方等も検討すべき。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	4	会員の方々はそれなりに頑張っていると思うが、会員の高齢化と新規会員の伸び悩みをみると事業効率が上がっていない。 費用対効果の面からも効率性が良いとは言えない。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	7	小中学校の修学旅行における思い出作りに対して、これまで多大な貢献をいただいている。 設立してかなりの年数がたっているが、初期の段階からの事業の広がりが少ない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	38
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	④ 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	まちづくり応援団は町にとって大切な営業マン的存在でもある。応援団の方々にその目的がはっきり伝わっておらず親睦団体のようにっており、組織全体を見直すべきである。 応援団同士の輪が広がるような事業展開も必要である。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
まちづくり応援団に対する町の基本理念を示し、団員の方々に「こうこう、こういうことをお願いしたい」という具体的な依頼をすることで、応援団員にも活力が生まれるのではないかと。
団員が高齢化しており、現役世代の若い方々の加入促進を図り、その人脈を活かして町の活性化事業につなげていく組織改革が必要である。